

尚上衣は下衣より多く、又女兒は男児より多い。内外衣別には外衣が多い。

被服材料は男女児共木綿が最も多く次で毛織・化織の順である。尚、上衣・下衣・內衣・外衣について材料別に考察する。

服種に就ては向寒期に男女児共増加する。

## 61 滋賀県に於ける衣生活の実態（第1報）

### 一農村幼児の場合一

滋賀県立短大 堀 有子

1 滋賀県の気候に適合した幼児の衣服は如何にあるべきかを研究する為に、県内各地の幼児着衣の実態調査を行っている。今回は第1報として湖北地方の純農村幼児の実態について報告する。

2 昭和38年7月より34年3月迄毎月1回予告なく滋賀県浅井町湯田保育園児75名の室内に於ける衣服重量、体重、身長を測定し、更に着衣枚数、服種、被服材料等について調査した。

3 衣服重量は季節別には夏季男児60~380g、女児80~260g、冬季男児600~1700g、女児500~1800gで衣服平均重量の最小は7月（男児248.5g、女児163.4g）、最大は1月（男児1086.1g、女児1189.7g）であった。

衣服重量の体重に対する比率は夏季男児1.4~1.5%、女児1.0~1.3%、冬季男児5.3~5.8%、女児5.6~6.7%であった。

着用総枚数については夏季には2~3枚、冬季には6~7枚、夏季には男児が多く冬季には女児の方が多い。